



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仙田 貞雄

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 境 克也

TEL 03-5437-8028

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	216,756	4.7	11,909	107.3	12,600	168.5	8,740	231.3
25年3月期第2四半期	207,049	△5.1	5,744	△56.8	4,692	△61.6	2,638	△63.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 17,689百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 1,122百万円 (△78.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	15.30	—
25年3月期第2四半期	4.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	474,384	170,532	34.2	283.74
25年3月期	438,072	155,049	33.5	256.56

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 162,056百万円 25年3月期 146,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	435,700	4.4	20,900	26.2	21,400	32.1	13,100	32.2	22.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	572,966,166 株	25年3月期	572,966,166 株
26年3月期2Q	1,824,015 株	25年3月期	1,813,745 株
26年3月期2Q	571,146,453 株	25年3月期2Q	571,159,606 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、円安による輸入品の高騰や中国の景気減速懸念等があるものの、「アベノミクス」によるプラス効果が実体経済に徐々に波及していることに加えて震災復興需要、緊急経済対策の本格化や消費税率引き上げ前の駆け込み需要等もあり景気は回復基調が持続している中で推移しました。

このような環境のもと、当社の売上高は、円安効果による金属・資源セグメントを中心とした増収や極薄銅箔や薄膜材料をはじめとする製品の販売が好調であったこと等の影響により、当第2四半期連結累計期間は、前年同期比 97 億円（4.7%）増加の 2,167 億円となりました。

損益面では、自動車関連製品がエコカー補助金効果剥落等により減販となりましたが、極薄銅箔等の主力製品での増販や薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積り変更による一過性の影響、円安効果やそれに伴うたな卸資産の在庫影響による要因（以下「在庫要因」）等により、営業利益は前年同期比 61 億円（107.3%）増加の 119 億円となりました。経常利益は、持分法損益の好転等により、前年同期比 79 億円（168.5%）増加の 126 億円となりました。

また、特別損益においては、固定資産売却益等を特別利益に、固定資産除却損等を特別損失にそれぞれ計上し、さらに税金費用及び少数株主利益を計上した結果、四半期純利益は前年同期比 61 億円（231.3%）増加の 87 億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①機能材料

電池材料や触媒における販売は堅調に推移しましたが、レアアース価格の低下等により当セグメントの売上高は前年同期比 70 億円（22.7%）減少の 241 億円となり、経常利益は 19 億円（37.9%）減少の 32 億円となりました。

②金属・資源

亜鉛など主要地金の需要および LME（ロンドン金属取引所）価格は低調に推移しましたが、「アベノミクス」による円安効果等により当セグメントの売上高は前年同期比 117 億円（18.0%）増加の 772 億円となりました。経常損益は、円安効果および在庫要因等で、28 億円の損失から 15 億円の利益となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

亜鉛（当第2四半期連結累計期間の生産量 104 千 t <共同製錬については当社シェア分>）
鉛（当第2四半期連結累計期間の生産量 35 千 t）

③電子材料

極薄銅箔は、需要が堅調に推移し増販となりました。一方で、汎用電解銅箔および金属粉

は、需要が総じて低調に推移し減販となりました。当セグメントの売上高は、前年同期比 5 億円 (1.6%) 減少の 361 億円となりました。経常利益は、極薄銅箔の増販およびその他製品構成の改善等により 12 億円 (113.9%) 増加の 23 億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

電解銅箔 (当第 2 四半期連結累計期間の生産量 17 千 t)

④素材関連

マイクロサーキット事業の撤退により減収となったものの、薄膜材料で販売が好調に推移しました。さらにその他の製品でも需要は総じて堅調に推移しました。当セグメントの売上高は、前年同期比 21 億円 (3.6%) 増加の 616 億円となりました。経常損益は、薄膜材料の増販や薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積り変更による一過性の影響等により 4 億円の損失から 58 億円の利益となりました。

⑤自動車機器

エコカー補助金効果の剥落等により、自動車需要は低調に推移し減販となりました。当セグメントの売上高は、前年同期比 39 億円 (8.5%) 減少の 427 億円、経常利益は 27 億円 (78.5%) 減少の 7 億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

自動車用機能部品 (当第 2 四半期連結累計期間の生産金額 378 億円)

(2) 財政状態に関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 115 億円に、減価償却費 116 億円、売上債権の減少 34 億円などの増加要因と、たな卸資産の増加 80 億円及び法人税等の支払い 7 億円などの減少要因を差し引いた結果、188 億円のキャッシュの増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 101 億円及び投資有価証券の取得による支出 211 億円などにより、304 億円のキャッシュの減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期および長期借入による収入などにより、133 億円のキャッシュの増加となりました。

以上の結果、為替換算差額を含めた現金及び現金同等物の当第 2 四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ 15 億円増加の 167 億円となりました。

また、当第 2 四半期末の総資産は、チリのカセロネス銅鉱山の鉱山開発への出資等による投資有価証券の増加や棚卸資産の増加等があり、前連結会計年度末に比べ 363 億円増加の 4,743 億円となり、長・短借入金、社債及びコマーシャル・ペーパー残高は前連結会計年度末より 164 億円増加の 1,968 億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 26 年 3 月期通期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の業績予想につきましては、当第 2 四半期連結累計期間実績および為替・非鉄金属価格等の変動要因や第 3・第 4 四半期の状況を勘案の上、見直しております。

8 月 7 日にお知らせしました業績予想に比べ、売上高は 166 億円（4.0%）増加の 4,357 億円、営業利益は 38 億円（22.2%）増加の 209 億円、経常利益は 39 億円（22.3%）増加の 214 億円、当期純利益は 24 億円（22.4%）増加の 131 億円を見込んでおります。

尚、10 月 21 日に公表しました業績予想の修正に関するお知らせからは変更ございません。

（単位：百万円）

		今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減金額 (A)-(B)	増減率 (%)
売上高	機能材料	48,700	48,400	300	1%
	金属・資源	149,100	143,300	5,800	4%
	電子材料	69,200	73,300	△4,100	△6%
	素材関連	130,800	123,600	7,200	6%
	自動車機器	88,500	85,700	2,800	3%
	消去又は全社	△50,600	△55,200	4,600	-
	合計	435,700	419,100	16,600	4%
営業利益		20,900	17,100	3,800	22%
経常利益	機能材料	5,300	4,900	400	8%
	金属・資源	1,600	1,300	300	23%
	電子材料	3,400	2,400	1,000	42%
	素材関連	8,600	7,200	1,400	19%
	自動車機器	4,800	5,100	△300	△6%
	消去又は全社	△2,300	△3,400	1,100	-
	合計	21,400	17,500	3,900	22%
当期純利益		13,100	10,700	2,400	22%

	4月～9月 実績	10月～3月 見込	今回予想	(参考) 前回予想
為替(円/US\$)	99	95	97	94
亜鉛LME(\$/t)	1,850	1,900	1,875	1,923
鉛LME(\$/t)	2,079	2,100	2,090	2,139

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①たな卸資産の評価に係る見積りの変更

当社及び連結子会社の台湾特格股份有限公司において、引き渡し後、未使用部分につき取引先より返却を受ける薄膜材料製品のたな卸資産計上額は、従来、予定返却量の見積りが困難であることから返却時に実績返却量に基づき計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、引き渡し時に過去の実績返却率に基づく予定返却量を見積り計上する方法に変更しております。

この変更は、新生産管理システムを導入したことにより、予定返却量の見積りが可能となったため実施したものであります。

この変更により、当第2四半期連結累計期間の売上原価は1,871百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,202	16,717
受取手形及び売掛金	77,937	77,179
商品及び製品	22,129	22,608
仕掛品	25,696	28,145
原材料及び貯蔵品	24,745	31,010
繰延税金資産	2,319	2,252
その他	11,409	10,529
貸倒引当金	△177	△181
流動資産合計	179,263	188,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	150,486	152,459
減価償却累計額	△99,624	△101,551
建物及び構築物（純額）	50,862	50,908
機械装置及び運搬具	295,515	301,113
減価償却累計額	△243,392	△250,159
機械装置及び運搬具（純額）	52,123	50,954
鉱業用地	501	504
減価償却累計額	△219	△231
鉱業用地（純額）	281	272
土地	33,472	32,895
建設仮勘定	6,578	7,120
その他	49,319	50,516
減価償却累計額	△40,610	△41,125
その他（純額）	8,709	9,391
有形固定資産合計	152,027	151,543
無形固定資産	4,731	4,549
投資その他の資産		
投資有価証券	93,410	119,905
長期貸付金	486	463
繰延税金資産	1,760	2,229
その他	6,549	7,552
貸倒引当金	△157	△121
投資その他の資産合計	102,050	130,029
固定資産合計	258,809	286,122
資産合計	438,072	474,384

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,547	40,801
短期借入金	70,463	69,079
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	1,338	1,586
繰延税金負債	0	15
引当金	5,643	5,825
その他	25,668	25,421
流動負債合計	160,661	152,729
固定負債		
社債	40,000	50,000
長期借入金	49,909	67,747
繰延税金負債	2,572	3,698
退職給付引当金	22,086	21,948
その他の引当金	2,678	2,763
資産除去債務	2,458	2,572
その他	2,655	2,391
固定負債合計	122,361	151,121
負債合計	283,023	303,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,557
利益剰余金	90,302	97,269
自己株式	△592	△594
株主資本合計	154,397	161,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	767	1,624
繰延ヘッジ損益	219	415
為替換算調整勘定	△8,849	△1,344
その他の包括利益累計額合計	△7,861	694
少数株主持分	8,514	8,476
純資産合計	155,049	170,532
負債純資産合計	438,072	474,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	207,049	216,756
売上原価	180,722	182,865
売上総利益	26,327	33,891
販売費及び一般管理費	20,582	21,982
営業利益	5,744	11,909
営業外収益		
受取利息	70	67
受取配当金	557	553
為替差益	—	573
持分法による投資利益	—	423
不動産賃貸料	459	495
その他	300	546
営業外収益合計	1,388	2,659
営業外費用		
支払利息	1,228	1,141
持分法による投資損失	84	—
為替差損	456	—
その他	671	827
営業外費用合計	2,440	1,968
経常利益	4,692	12,600
特別利益		
固定資産売却益	112	446
受取損害賠償金	202	—
その他	208	31
特別利益合計	524	477
特別損失		
固定資産除却損	378	391
固定資産売却損	20	13
災害による損失	12	—
事業構造改善費用	140	327
その他	217	784
特別損失合計	770	1,516
税金等調整前四半期純利益	4,446	11,561
法人税、住民税及び事業税	1,577	2,127
法人税等調整額	△208	582
法人税等合計	1,368	2,710
少数株主損益調整前四半期純利益	3,077	8,850
少数株主利益	439	109
四半期純利益	2,638	8,740

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,077	8,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△746	805
繰延ヘッジ損益	△166	△86
為替換算調整勘定	△1,058	3,889
持分法適用会社に対する持分相当額	15	4,229
その他の包括利益合計	△1,955	8,838
四半期包括利益	1,122	17,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	628	17,295
少数株主に係る四半期包括利益	494	393

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,446	11,561
減価償却費	11,527	11,693
減損損失	—	33
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	28	△38
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△759	△189
受取利息及び受取配当金	△628	△621
支払利息	1,228	1,141
為替差損益 (△は益)	△16	176
持分法による投資損益 (△は益)	84	△423
固定資産売却損益 (△は益)	△91	△432
固定資産除却損	378	391
売上債権の増減額 (△は増加)	10,627	3,483
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,033	△8,099
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,059	975
その他	3,715	△703
小計	28,515	18,949
利息及び配当金の受取額	628	620
持分法適用会社からの配当金の受取額	828	903
利息の支払額	△1,281	△1,164
法人税等の支払額	△2,015	△703
その他の支出	△41	259
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,633	18,865
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,275	△10,121
有形固定資産の売却による収入	51	1,737
無形固定資産の取得による支出	△203	△162
投資有価証券の取得による支出	△8,836	△21,121
子会社株式の取得による支出	△1,023	△96
短期貸付金の増減額 (△は増加)	351	20
長期貸付けによる支出	△0	△5
長期貸付金の回収による収入	33	14
その他	△795	△732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,697	△30,466

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,449	1,431
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	15,000	—
長期借入れによる収入	3,072	21,594
長期借入金の返済による支出	△11,034	△7,208
リース債務の返済による支出	△420	△302
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△1,713	△1,713
少数株主への配当金の支払額	△1,789	△449
その他	△3	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,338	13,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	632
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,401	2,373
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	944	29
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△890
現金及び現金同等物の期首残高	17,670	15,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,213	16,715

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	29,878	46,250	34,894	49,754	46,655	207,433	△384	207,049
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,371	19,174	1,828	9,728	93	32,196	△32,196	—
計	31,250	65,424	36,723	59,482	46,748	239,630	△32,580	207,049
セグメント利益 又は損失(△)	5,153	△2,875	1,076	△424	3,537	6,468	△1,776	4,692

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,534百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	23,081	55,883	34,249	49,771	42,679	205,666	11,090	216,756
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,076	21,317	1,891	11,828	76	36,190	△36,190	—
計	24,158	77,201	36,141	61,600	42,755	241,857	△25,100	216,756
セグメント利益	3,201	1,595	2,303	5,831	760	13,692	△1,092	12,600

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,183百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. (会計上の見積りの変更)に記載の通り、当社及び連結子会社の台湾特格股份有限公司において、第1四半期連結会計期間より、薄膜材料製品のたな卸資産の評価に係る見積りの変更を実施しております。これに伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が素材関連セグメントで1,871百万円増加しております。